

ビジネスアイデアの概要

解決したい課題：製造業を中心に深刻化する技能者不足と、それに伴う技能の喪失という課題がある。また、既存の技能訓練は、高価な物理教材や危険な実機操作に伴うコスト・安全性の問題、教育内容の時代変化への対応の難しさといった課題を抱えている。

ソリューション：課題を解決するため、XR技術とボディトラッキング技術組み合わせた次世代技能教材システム【SkillSync】を開発する。本システムは、実際の工具を模した入力操作と高精度な動作トラッキングによる評価、複数人でのグループワークをスタンドアロン環境で実現する。これにより、安全かつ効果的で、低コストな技能訓練の機会を提供し、技能継承の促進と人材育成の効率化を目指す。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

事業課題：費用対効果の提示とビジネスモデル構築:既存の訓練方法と比較した際の導入・運用コスト削減効果や生産性向上効果を定量的に示し、顧客が導入しやすい価格設定と持続可能な収益モデル(初期導入費,サブスクリプション,教材コンテンツ販売など)を確立する必要がある。

技術課題：動作定量化と評価システムの精度向上:熟練者の動作データ収集・分析手法の確立と、学習者の技能レベルを客観的かつ正確に評価するためのアルゴリズム開発。
教材作成・編集ツールの開発:顧客自身や開発者が容易に新規教材を作成・編集できるツールの開発による、コンテンツ拡充の効率化を目指す。

事業化の見通し

プロトタイプ開発と実証：特定の技能(例：自動車整備、簡単な機械操作)に焦点を当てたデモ教材とプロトタイプ開発を進める。開発したプロトタイプを一教育機関へ試験導入し、試験利用を通じて有効性や改善点のフィードバックを得る計画(2026年1月目標)。

中長期的な展開：教育機関での実証結果を踏まえ、システムの汎用性向上と機能拡張(教材作成エディタ、AIによる自動評価・フィードバック機能など)を図る。その後、他の教育機関や製造業・医療福祉分野の企業へ展開し、顧客ニーズに応じたカスタム教材開発やサブスクリプションモデルでの提供を目指す。将来的には、伝統芸能のアーカイブなど、より広い分野への応用も視野に入れる。

事業者情報

代表 藤原捷羽(一関高専5年)
メンバー 杉浦夢斗(一関高専専攻科1年)
一関高専 他研究学生

担当AR 三枝裕和 様



ビジネスアイデア概要図等

